

人の可能性を照らせ。



2021年3月25日
株式会社 QD レーザ

「レーザ網膜投影の世界へようこそ」開催のお知らせ(千代田区図書館)

2022年3月28日から1か月にわたり、千代田区図書館様(東京都千代田区、以下「千代田区図書館」)本館で、株式会社 QD レーザ(神奈川県川崎市、代表取締役社長 菅原充、以下「当社」)製の手持ち型の新製品「レティッサ・オン・ハンド」および、眼鏡型網膜走査投影デバイスをご体験いただくことができます。公立図書館としては日本初の体験会となります。

「レーザ網膜投影の世界へようこそ」と名付けて、どなたでも体験できますので、ぜひ当社製のレーザ網膜投影の世界を覗いてみてください。

公立の図書館では日本初となる新しいロービジョンエイドの体験会を千代田区図書館で1か月間行います。ご体験できる機器は以下の2種です。

① RETISSA®ON HAND(レティッサ・オン・ハンド)

手持ち型のビジリウム®テクノロジー(*)。盲学校での使用体験会からの意見などを反映して生まれたレティッサシリーズ新製品。シリーズ最大の視野角(約60度)、内臓カメラの映像を広い画角で網膜に大きく描きだします。

当社はこの RETISSA®ON HAND を文部科学省の読書バリアフリー法(障害の有無にかかわらず、すべての人が読書による文字、活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律、2019年6月28日公布、施行)にかなうものとして、図書館、学校などの公共機関で使っていただく取り組みを進めています。



RETISSA ON HAND の使用例

② RETISSA®DisplayII(レティッサ・ディスプレイ・ツー+アールディーツーカム)

眼鏡型のビジリウム®テクノロジー、付属のカメラで捉えた映像を網膜に映し出します。

どちらの製品も前眼部のピント調節機能を使わずにデバイスのカメラで捉えた画像を網膜に投影します。文字がぼやける・眼鏡をかけても見えにくいなどでお悩みの方!「レーザ網膜投影技術」を使ってクリアなものを見られるかもしれません。

(これらの機器は網膜に映像を直接投影するものですので、網膜が機能していない場合には使用できません。また、実際に見えるかどうか、または見え方の程度は個人差があります。)



RETISSA DisplayII+RD2CAM

- 名称 : 「レーザ網膜投影の世界へようこそ」
- 期間 : 2022年3月28日(火)~4月28日(木) 土、日曜日は除く
- 時間 : 午後12時~2時、午後5時~7時
- 開催場所 : 千代田区図書館 <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/chiyoda/>
- 対象 : どなたでも
- 問合せ先 : INA 計画株式会社 電話 03(5579)2517

皆様のご来訪をお待ちしております。

* 「ビジリウム® テクノロジー」は満天の星空を作り出すプラネタリウムのように、光で網膜に映像を描き出す技術。小型ディスプレイを使う従来技術とはまったく異なる方式で、レーザ開発で培った「光を操る技術」。
※RETISSA®ON HAND、RETISSA® Display II は医療機器ではありません。特定の疾患の治療や補助、視力補正を意図するものではありません。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部

メール:retissa@qdlaser.com

以上